

## 2023年度(第15期)

## 通常社員総会が開催されました



去る6月23日に仙台市、仙台メディアテークにて日本ホームインスペクターズ協会2023年度(第15期)通常社員総会が開催されました。議長に協会顧問の妹尾和江氏を選任し、会場参加32名、Zoom参加16名、議長に一括委任委任769名(欠席で議決権を行使した会員97名)で総会は成立、会員各位にお送りしました2議案と2023年度の事業計画案及び予算案が全て承認されました。



当日承認された2023年度事業計画のポイントをいくつかご紹介します。まずは、これまでエリア部会が無かった関東エリア部会の再立ち上げがあります。これに先立ち、アfrisペック一級建築士事務所(千葉市)の清水隆行さんが新たな関東エリア部会長として任命されました。

また、女性部会改め“WiSP”の立ち上げと、“WiSP”を中心としたSNS発信の充実が計画に盛り込まれました。女性チームによる発信は高い

反応率が確認されており、今後の発信が期待されます。研修、教育制度の拡充に関しては、エリア単位で実地研修を行うための新たな仕組み「Inspector bootcamp」の試行を始めます。このほか、検索システムをはじめとするWeb環境の改善や、この10余年で蓄積された膨大な画像データの利活用検討などが承認されました。詳しい項目はお手元の議案書をご確認ください。

総会の後には、長嶋修理事長による基調講演、住まいのリスク研究所所長 西山祐幸氏(元日本住宅保証検査機構専務取締役)による講演が行われました。理事長からは現在の資産バブル下における不動産市況について、西山氏からは住宅紛争の状況についてかなり突っ込んだリアルな報告をいただきました。参加された会員の皆様には大きな気づきと刺激になったことと思います。



## 前日にはエリア部会長会議も開催。熱い議論が繰り広げられました。

総会前日の22日には、仙台市内で全国のエリア部会長によるエリア部会長会議が開催されました。

今後3年間の中期的テーマを”This is the Home inspection”と定め、JSJIの現状について問題認識を共有しました。さらに、会員の皆様

から寄せられたアンケートの結果なども共有しながら、「診断上手」についての意見交換、さらには新たなエリア研修「Inspector bootcamp」の新設と、その仕組みについての意見交換がなされました。